５－２．ＭＲＩ検査　～造影検査を受けられる方へ～

造影検査では、腕の太い静脈から造影剤を入れて、病変や血管を見やすくします。

【注意が必要な方】

・造影剤の副作用歴のある方

・腎臓の機能に重篤な障害がある方

・気管支喘息の方

【造影剤の使用で起こる可能性がある副作用】

ＭＲＩ検査に使用する造影剤は、比較的安全な薬剤ですが、他の薬と同様に副作用が出現する可能性があります。

・軽度（500 ～ 1000 人に 1 人）･･･吐き気、かゆみや発疹など

・重症（数万人に１人）･･･呼吸困難、意識障害、ショックなど

・極めてまれに、病状や体質によっては死亡することがある。（100 万人に 1 人程度）

・遅発性の副作用･･･検査後数十分～数日後に遅れて症状（軽度なもの）が起こることがある。

【食事について】

□　午前の検査の方　・・・　朝食は食べずに来院してください

□　午後の検査の方　・・・　昼食を食べずに来院してください

※　<u>水分は多めに飲んでください</u>